

☆日本の工業とその変化(教 P160~161)

C 組 9 番 氏名: 後藤 蓮

◎本日の問い

日本の工業の特徴や課題は何か

1. 日本の工業の特色

☆POINT 工場を建てる時の考え方

○できるだけ「安く、楽して運びたい!!」を叶えられる場所にできる。

→1. 原料や製品が(軽い or 重い)方が輸送費は安く済む!

2. 輸送する距離が(長い or 短い)方が輸送費は安く済む!

Q1. 資料集 P132より日本の鉄鋼業の分布の特徴と理由を考えてみよう。

・海沿いにある
・都市の近く

理・海を使えばすぐはこつから
・金も作ったものの資源を輸入するの
必要ないから

(①太平洋ベルト): 関東地方から九州北部。消費地にも近い。

Q2. 資料集 P132より半導体関連工場の分布の特徴と理由を考えてみよう。

ヒント) 半導体(ICチップ)は軽くて小さくて値段も高い。

全国にある
(高速道路の近く)

理・作ったものを高速で運ぶため
(車が多い高速道路)
・ICの近くにあるとすぐ高速に入る

※日本の工業の変化: (②重工業) → (③化学工業) → (④先端技術産業)

特に自動車(⑤自動車産業)がいまの日本を支えている状態

2. 日本の工業の課題

○日本の貿易の特徴

(⑥加工貿易): 原料を輸入、製品を輸出

○問題点

(⑦貿易摩擦): 外国製品との競争で発生。

例) 80年代日本からアメリカに自動車輸出拡大→アメリカの自動車衰退

→防ぐためアメリカやヨーロッパなど現地生産に移る。

→現在は賃金の安い労働力、新たな市場を求め中国や東南アジアへ

→日本に工場が残らなくなる(⑧産業の空洞化)

☆日本の農業・林業・漁業とその変化 Part1(教 P158~159)

C 組 9 番 氏名: 後藤 蓮

◎本日の問い

なぜ日本の食料自給率が低下しているのか。

1. 日本の農業の特徴

Q. 7地方区分に分けた時次の農業が盛んな地域が多い地方を2つずつあげよう。(地 P158)

○稲作: 東北地方と中部地方

○畜産: 北海道地方と九州地方

○野菜: 関東地方と九州地方

※日本の農業形態

○新鮮な状態で出荷する工夫

(①近郊農業): 都市の消費者向けに、都市に近い場所で行われる。

○出荷時期をずらして高値で売る工夫

(②促成栽培): 温暖な気候でほかの地域より早めに出荷(九州・高知など)

(③抑制栽培): 冷涼な気候でほかの地域より遅めに出荷(長野)

Q. 様々な資料を参考にして、日本の食料自給率が低下する理由を書き出そう。

1) 資 P128 A2, A3	農家の数が減り、耕作放棄地の面積が増えているから。
2) 資 P129 C1, C3	国産品より輸入品のほうが安いから、自分の国で食うよりも、他国に頼る。輸入品を取り入れるほうが安いから。
3) 資 P129C2	・日本人が食べている食品の米の割合が減っている。 ・自給率の高い米を食わず、逆に低い米を食べている。
4) 資 P83 B6~8	・日本(農家さん)の1人あたりの収穫量が少なく、かつ1人あたりの面積も小さい。(アメリカと比べて)